

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IMA 小委員会
(第 25 期・第 4 回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和 4 年 9 月 16 日 (金) 17:00 - 17:40

2. 会 場 遠隔会議

3. 出席者：大谷栄治・西山忠男・阿依アヒマディ・井上徹・入船徹男・宇都宮聡・榎並正樹・大藤弘明・佐藤努・土屋旬・土屋卓久・富岡尚敬・坂野靖行・門馬綱一・塚本尚義

4. 議 題

(1) 議事録の委員長一任について

議事録について委員長一任とすることを承認した。

(2) 新規会員の追加について

本委員会の活動をさらに活性化するため、次の 4 名を委員として追加することを決め、学術会議に申請することとした。

辻森 樹 東北大学教授

永嶋真理子 山口大学教授

森下知晃 金沢大学教授

福土圭介 金沢大学教授

また委員として認められるまでの間は、これら 4 人の委員候補者のオブザーバー参加を認めることとした。

(3) IYBSSD-Year of Mineralogy2022 について (大谷)

○持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022) に関する取組状況
(企画・報告)

- 9 月 17 日-19 日に新潟大学で開催される日本鉱物科学会の 2022 年年会において、「世界鉱物年 2022」を記念した一般普及講演会を開催予定。詳細は以下の通り。

開催日時：2022 年 9 月 18 日(日) 14:00~16:00

会 場：新潟市万代市民会館

対 象 : 一般市民及び学会員

講演者 : 小河原孝彦 (フォッサマグナミュージアム)

演 題 : 国石や新潟県の石になる宝石ヒスイとは何だろう？
～地球からの贈り物と世界最古のヒスイ文化～

共 催 : フォッサマグナミュージアム

- IMA2022 Lyon (7月18-22日)において、国際鉱物学連合 (IMA) の現地 LOC が「IYBSSD, Year of Mineralogy」に関する普及講演を行った。また、IYBSSD/Year of Mineralogy のパンフレット (Flyer) の日本語版を作成した。今後の普及活動に活用する予定。
- 地学雑誌 Journal of Geography (Chigaku Zasshi)の特集号 (2022, 131 巻 2 号)として「世界鉱物年 2022 -地球のつぶやき-」を企画・発行した。掲載論文は以下の通り。
 - ・ Overview of the Special Issue “2022 Year of Mineralogy”
 - ・ 特集号「世界鉱物年 2022—地球のつぶやき—」巻頭言
 - ・ 鉱物学の夜明け
 - ・ 新鉱物・日本新産鉱物
 - ・ 地球の化学組成
 - ・ 鉱物から探る地球内部
 - ・ 原始太陽系の謎を明かす鉱物科学
 - ・ 生命と鉱物の相互作用・共進化, 表層環境: 地球史鉱物学への挑戦
 - ・ 交代性アルビタイトに産するリチウム鉱物の産状・結晶化学・成因
 - ・ 鉱物科学としての鉱床学・資源地質学の発展と将来
 - ・ 鉱物と宝石
- 国立科学博物館発行の科学誌「milsil (ミルシル)」に世界鉱物年を記念した連載シリーズを掲載している。各記事のタイトルは以下の通り。
 - ・ 81号「鉱物学の夜明け」
 - ・ 82号「身近な鉱物 氷の科学」
 - ・ 83号「地球深部を鉱物から探る」
 - ・ 84号「鉱物から地球の表層部を探る」
 - ・ 85号「人気で色合いもさまざまな宝石—ベリル (緑柱石)」
 - ・ 86号「ジルコン—地球の歴史を知る鉱物—」
 - ・ 87号「博物館と宝石コレクション」
 - ・ 88号「資源として利用される鉱物」
 - ・ 89号「環境と鉱物 (予定)」
 - ・ 90号「鉱物学の展望 (予定)」

- 鉱物科学会の博物館委員会（坂野靖行委員長）主導のもと、全国の博物館において企画展などを開催する活動を行っている。具体的には、IYBSSD と世界鉱物年 2022 の事業として、世界鉱物年ロゴと世界鉱物年の簡単な説明文からなるポスターを作成し、自然史系博物館の鉱物展示室に掲出してもらうよう働きかけた。具体的な実績は以下の通り。

- ・ 企画展のチラシ等にもロゴを掲載してもらうよう依頼を行なった。現時点では 6 館（国立科学博物館、フォッサマグナミュージアム、北九州市立いのちのたび博物館、中津川市立鉱物博物館、奇石博物館、産総研地質標本館）の常設展示室においてロゴが掲示されている。
- ・ 紋別流水科学センターにおいては、世界鉱物年を記念して企画展を開催し、世界鉱物年のロゴが掲示した案内チラシを配布した。

[世界鉱物年企画：アート&サイエンス 地球からの贈り物 ～オホーツクの自然が育むその恵み～金石造形展](#)

中津川市立鉱物博物館の web site に世界鉱物年に関するトピックス記事が掲載され、同館主催の企画展のチラシにロゴが掲載された。

(4) IMA 2022 Lyon 報告（大藤）

7 月 18-22 日の日程でフランス・リヨンにて IMA2022 が開催された。33 の学術セッションが立てられ完全対面形式で行われたが、新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響で中国・アメリカ・ロシアからの参加者はほとんどなく、参加者は 400 名弱と小規模であった（日本人参加者は 21 名）。それでも久しぶりの対面開催の国際会議ということで、連日オーラルセッション、ポスターセッションにおいて活発に議論が交わされた。企業による展示ブースも少数だが出展されていた。次回の IMA2026 は中国・南京で行われる予定。

(5) IMA Business Meeting 報告（大藤）

会期中 2 回の Business meeting が開催された。初回の Business meeting での主な議題は以下の通り。

- ・ 前回のメルボルン大会以後の 4 年間の活動の総括、予算状況の報告
- ・ ワーキンググループ設立の報告
- ・ 2022 IMA メダル受賞者（Patricia Dove）の報告および審査委員交代の報告
- ・ IMA Ph. D. Student Award の報告（受賞者 5 名、うち日本人 1 名（東北大・福島くん））
- ・ IMA カウンシル役員選挙の候補者の紹介
- ・ IMA ウェブサイトの更新計画
- ・ IMA2026（南京）の準備状況報告

新たに設立された3つのワーキンググループの執行部メンバー

<Nano-Mineralogy>

Chair: Juan Liu (Peking Univ., China)

Vice-Chair: Keisuke Fukushi (Kanazawa Univ., Japan)

Vice-Chair: Michael Schindler (Univ. Manitoba, Canada)

Secretary: Alejandro Fernandez-Martinez (Univ. Grenoble Alpes, France)

<Mineral Informatics>

Chair: Robert M. Hazen (Carnegie Inst. Sci., USA)

Vice-Chair: Sergey V. Krivovichev (Saint-Petersburg State Univ., Russia)

Vice-Chair: Yan Li (Peking Univ., China)

Secretary: Shauna M. Morrison, Carnegie Institution for Science, USA

<Biomineralogy and environment>

Chair: Prof. Giovanni di Giudici (Università di Cagliari, Italia)

Vice-Chair: Dr Kevin Rosso (Pacific Northwest National Lab. USA)

Vice-Chair: Prof. Jurai Maizlan (Univ. Jena, Germany)

Secretary: Karen Hudson-Edwards (Exeter Univ. UK)

2回目のBusiness meetingでは、IMAの新役員候補者への投票を行った。結果は以下の通り。

- 1st Vice-President 候補者2名から1名 (Eiji Ohtani) を選出
- 2nd Vice-President 候補者1名 (Xiancai Lu, IMA2026 LOC委員長) を承認
- Communication Officer 候補者1名 (Michele Zema) を承認
- 新 Council member 候補者3名から2名 (Desh Chetty, Schauna Morrison) を選出

このほか、全てのIMAコミッションの活動評価に関する承認、CNMNC、COMコミッションの執行委員交代の承認、新たに提案された3つのワーキンググループの承認などが行われた。

また大谷栄治1st Vice-Presidentより、選出に至る過程について説明があった。

(6) その他

文部科学省の「未来の学術振興構想」への応募状況について入船委員より説明があった。

Zoom URL

<https://us06web.zoom.us/j/89772579343?pwd=eDFWb1BlcFZST0wrZ3VEMHVHd2pBZz09>

ミーティング ID: 897 7257 9343

パスコード: 449933

添付資料 なし